

あぶしん景況レポート

2021年1～3月期



あぶくま信用金庫
総合企画部

Vol.3 2021.4発行

当地区の概況

【業種別天気図】

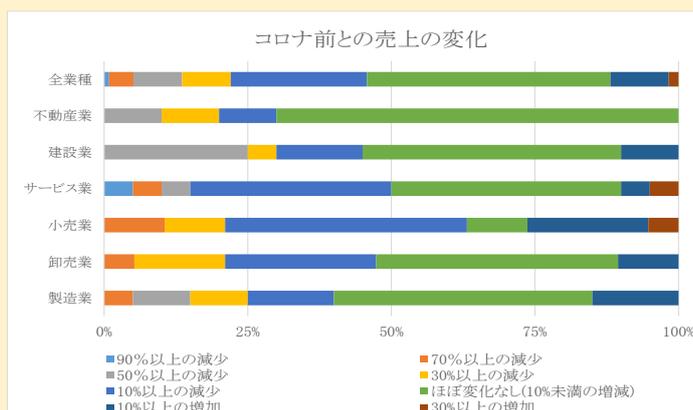
調査対象:120社

業種別	総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービスマ業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
2020年 10～12月								▲ 20.8
2021年 1～3月								▲ 30.8
2021年 4～6月 (見通し)								▲ 31.7

- 2021年1～3月期(今期)の業況判断D.I.は▲30.8と、前期比10.0ポイントの悪化となった。
 - 2021年4～6月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲31.7と、横ばいを見込んでいる。
- 業種別にみると、製造業の来期予想D.I.は▲10.0と今期より若干改善する見込みだが、小売業は▲50.0と今期実績比15.0ポイントの悪化を見込んでいる。

特別調査 - 新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常態(ニューノーマル)への対応 -

- 今期の売上と新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1～3月の売上の変化を調査した結果、右グラフのとおり、小売業以外は「ほぼ変化なし(10%未満の増減)」の回答が最も多くなった。小売業は、6割強の事業者が減少したと回答した一方、2割強の事業者が増加したと回答した。



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくは<あぶしん>
各支店へ!



携帯・スマートフォンの方はQRコードを!
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん <http://www.abukuma.co.jp/>



製造業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	25.0	40.0	10.0	25.0	▲ 10.0
	実績	0.0	25.0	25.0	30.0	20.0	▲ 25.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	30.0	30.0	30.0	10.0	▲ 10.0

業況判断D. I. は今期(実績) ▲25.0 となり、今期(予想) を15ポイント下回った。来期(予想) は▲10.0 となり、今期実績比15ポイントの改善を見込んでいる。
人手不足、利幅の減少を経営課題とする企業が増加した。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	55.0%
2 人手不足	40.0%	30.0%
3 利幅の縮小	35.0%	25.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	65.0%	65.0%
2 経費を節減する	55.0%	35.0%
3 人材を確保する	35.0%	35.0%
3 情報力を強化する	35.0%	25.0%

卸売業

業況判断D. I.

調査対象：19社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	10.5	42.1	31.6	15.8	▲ 36.8
	実績	5.3	15.8	31.6	42.1	5.3	▲ 26.3
来期 (4-6月)	予想	0.0	21.1	42.1	21.1	15.8	▲ 15.8

業況判断D. I. は今期(実績) ▲26.3 となり、今期(予想) を10ポイント上回ったが、やや悪いとする回答が最も多くなった。
取引先の減少を経営課題とする企業が増加した。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	52.6%	47.4%
2 取引先の減少	36.8%	10.5%
3 同業者間の競争の激化	21.1%	26.3%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	68.4%	57.9%
2 経費を節減する	52.6%	42.1%
3 情報力を強化する	47.4%	42.1%

小売業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	25.0	30.0	40.0	5.0	▲ 20.0
	実績	5.0	10.0	35.0	45.0	5.0	▲ 35.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	30.0	40.0	20.0	▲ 50.0

業況判断D. I. は今期(実績) ▲35.0 となり、今期(予想) を15ポイント下回った。来期(予想) は▲50.0 となり、今期実績比15ポイントさらなる悪化を見込んでいる。
売上の停滞・減少を経営課題とする企業は減少した。

○経営課題

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	35.0%	50.0%
2 人手不足	30.0%	40.0%
3 商圏人口の減少	25.0%	15.0%
3 利幅の縮小	25.0%	10.0%

○重点経営施策

(単位：%、複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	55.0%	45.0%
2 人材を確保する	35.0%	40.0%
3 新しい事業を始める	20.0%	20.0%

サービス業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	0.0	55.0	25.0	20.0	▲ 45.0
	実績	0.0	15.0	30.0	35.0	20.0	▲ 40.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	5.0	40.0	45.0	10.0	▲ 50.0

業況判断 D. I. は今期（実績）▲40.0 となり、今期（予想）を 5 ポイント上回った。来期（予想）は▲50.0 となり、今期実績比 10 ポイントの悪化を見込んでいる。
売上の停滞・減少を経営課題とする企業が増加した。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	60.0%	40.0%
2 人件費の増加	35.0%	40.0%
3 人手不足	25.0%	30.0%
3 商圏人口の減少	25.0%	15.0%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 販路を広げる	50.0%	45.0%
2 経費を節減する	40.0%	45.0%
3 宣伝・広告を強化する	35.0%	30.0%

建設業

業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	9.5	47.6	33.3	9.5	▲ 33.3
	実績	0.0	14.3	47.6	33.3	4.8	▲ 23.8
来期 (4-6月)	予想	0.0	0.0	52.4	47.6	0.0	▲ 47.6

業況判断 D. I. は今期（実績）▲23.8 となり、今期（予想）を 10 ポイント上回った。来期（予想）は▲47.6 となり、今期実績比 23 ポイントの悪化を見込んでいる。
技術力を高めるを重点経営施策とする企業が増加した。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 人手不足	42.9%	57.1%
1 売上の停滞・減少	42.9%	28.6%
3 下請けの確保難	28.6%	33.3%
3 利幅の縮小	28.6%	9.5%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 技術力を高める	57.1%	38.1%
2 人材を確保する	47.6%	66.7%
3 販路を広げる	33.3%	38.1%

不動産業

業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (1-3月)	予想	0.0	10.0	60.0	25.0	5.0	▲ 20.0
	実績	0.0	0.0	65.0	35.0	0.0	▲ 35.0
来期 (4-6月)	予想	0.0	10.0	65.0	25.0	0.0	▲ 15.0

業況判断 D. I. は今期（実績）▲35.0 となり、今期（予想）を 15 ポイント下回った。来期（予想）は▲15.0 となり、今期実績比 20 ポイントの改善を見込んでいる。
人件費の増加を経営課題とする企業が増加した。

○経営課題

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	30.0%
2 同業者間の競争の激化	30.0%	25.0%
3 人件費の増加	20.0%	0.0%

○重点経営施策

（単位：％、複数回答）

項目	今期	前期
1 経費を節減する	45.0%	35.0%
2 情報力を強化する	25.0%	35.0%
2 宣伝・広告を強化する	25.0%	15.0%

全国の概況

【全国業種別天気図】

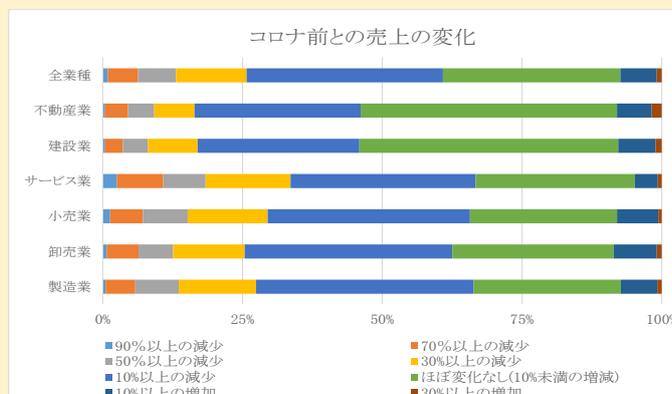
回答社数: 13,911社

		総 合	製 造 業	卸 売 業	小 売 業	サービス業	建 設 業	不 動 産 業	総 合 D.I.
全 国	2020年 10～12月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 36.2
	2021年 1～3月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 37.1
	2021年 4～6月 (見通し)	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 35.3
東 北	2021年 1～3月	☂	☂	☂	☂	☂	☁	☂	▲ 43.3

- 全国の 2021 年 1～3 月期（今期）の業況判断 D. I は▲37.1 と、前期比 0.9 ポイントの小幅悪化となった。2021 年 4～6 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲35.3 と今期実績比 1.8 ポイントの小幅改善を見込んでいる。
- 東北地区の 2021 年 1～3 月期（今期）の業況判断 D. I は▲43.3 と、前期比 4.0 ポイントの小幅悪化となった。2021 年 4～6 月期（来期）の予想業況判断 D. I. は▲41.3 と今期実績比 2.0 ポイントの小幅改善を見込んでいる。

特別調査 - 新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常态(ニューノーマル)への対応 -

- 今期の売上と新型コロナウイルスの影響がなかった例年の 1～3 月の売上の変化を調査した結果、全業種の 6 割の企業において売上が減少したが、不動産業・建設業においては 5 割にとどまった。一方、全業種において 1 割程度の企業は売上が増加したと回答した。



全国の調査員からのコメント

- 緊急事態宣言やG・T・Oトラベル停止により予約キャンセルが相次ぎ、全館休館を実施して経費節減に努めている。(旅館業、中国地区)
- 新型コロナを受けネット販売が好調である。大手からの注文はさほど減っていないが、個人商店からの注文は著しく減少している。(卸売業、東北地区)

【調査要領】

1. 調査時期 2021年3月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断 D. I. は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断 D. I.) を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員 20 人未満の企業が約 7 割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。